

障がい者マンパワー 活用のご提案

社会福祉法人治栄会 とどまつ園

1. ごあいさつ
2. とどまつ園活用のメリット
3. 具体的提案
4. お取引の流れ
5. SDGsについて

ごあいさつ

私たちとどまつ園は、大阪市都島区の地で40年以上活動している障がい者作業所です。

障がい者制度に基づき、様々な手帳をお持ちの方が通い、日中多くの軽作業に取り組んでいます。

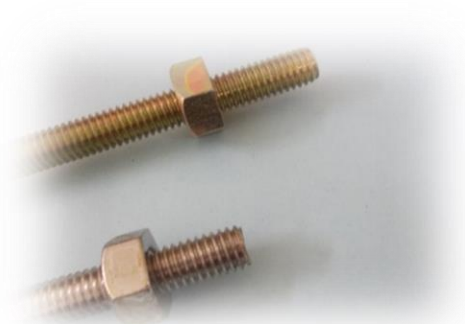
現在とどまつ園では10数社の企業様とお取引をさせて頂いておりますが、さらなる飛躍を目指し日々活動しております。

是非、この溢れるマンパワーをご活用頂き、貴社の業務軽減や社会貢献活動の一環として、お役立てくださいますようお願い申し上げます。

とどまつ園活用のメリット

- 直接雇用ではないため、**人材管理業務が軽減**されます。
- 30名以上の利用者スタッフが対応するため、**人手不足が解消**されます。
- 倉庫も完備しており、**スペースの確保**ができます。
- ライトワゴン車を保有しており、**運搬業務の軽減**ができます。（※別途運送費が必要となります）
- 館内に3つの作業場があり、作業場の特徴にあわせて、**幅広い作業に対応**できます。
- 障がい者の自立に協力する、**サステナブルな企業**としてイメージアップが可能です。
（お支払い頂いた作業工賃は、利用者の給与となります）

具体的提案



ネジの組立
ハンドプレスを用いた
加工も可能。



ブリストーパーキング
セット組みからホッチキ
ス加工まで対応。



DM封入
封入から封緘、宛名貼
りや宛名振分けも対応。



箱組立
箱折、中敷きセット、
商品のアソートも可能。



袋詰め
計量器を使用して、正
確な入数の作業可能。

その他
清掃、ポスティング、洗車、
シュレッダー等様々な作業
にも対応いたします。
詳しくはお問合せ下さい。

お取引の流れ

初回、小ロットにてテスト作業を実施。

お取引条件の確認。

作業単価の見積もり

納期・数量を調整の上、本格スタート。

※スポット商品の場合は、この限りではありません。

詳細は、下記連絡先までお願いいたします。

お問い合わせ先

社会福祉法人治栄会 とどまつ園 営業担当；大西
(障がい者就労継続支援B型事業所)

住所；〒534-0014

大阪市都島区都島北通2-12-25

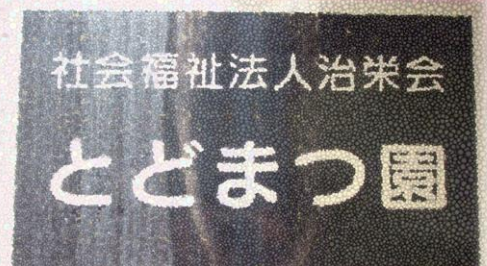
TEL；06-6922-0500

FAX；06-6925-0250

Email；tdmt@todomatsuen.com

URL；[https://www.jieikai.or.jp/
facilities/todomatsuen/](https://www.jieikai.or.jp/facilities/todomatsuen/)

IBURL；<http://www.todomatsuen.com>



私たちはSDGsを支援しています。 障がい者の就労分野にもサステナブルな流れを

SDGsとは、サステナブル・デベロップメント・ゴールズの略で、持続可能な開発目標と訳されています。

2015年に国連で採択され、「誰一人取り残さない」社会を実現することを目的に、2030年までの15年間で達成することを目指した国際的な目標のことです。その内容は、貧困や環境など17の大目標からなり、さらに細かく169のターゲットで示されています。

日本のSDGsアクションプラン2020では、優先課題として、あらゆる人々が活躍する社会の実現とし、ダイバーシティやバリアフリーの項目中に障がい者の工賃に関する内容も記載されています。

しかし、障がい者作業所（非雇用型）での給料は、国の工賃向上計画支援事業や障害者優先調達推進法などの制度を活用しても月額15,776円（全国平均月額令和2年度実績）と、大変厳しい現状となっています。

また、SDGsアクションプランでは事業所への経営改善や商品開発への支援が挙げられていますが、自主製品（施設製造商品）を有しない軽作業を中心とする事業所には恩恵にあずかりにくい内容となっています。

そこで、SDGsに取り組む企業様と軽作業を得意とする作業所が協働することで、「誰一人取り残さない」社会を実現する取り組みの一つとなるのではないのでしょうか。今は一施設の取り組みですが、このようなSDGsの活動が障がい者の就労分野でも広がることを願っています。